

乳幼児用紙おむつが毎月定額で使い放題になる、保育所向けのサブスクリプション(サブスク)サービスを導入する保育施設が、山陰両県で

増えている。記名したものを所持させる保護者の手間や管理する保育士の負担軽減につながり、好評を得ている。  
(山口春絵)

# 保育施設おむつ「サブスク」



最初の科目の国語  
西川津町、島根

防止のため大学入学共通テストに続き試験中のマスク着用が義務づけられ、試験開始前にはスマートフォン電源を切ったかばんにしまわせるカンニング防止策も徹底された。

料エネルギー学部」は募集人員40人に対し74人が受験し、倍率1.9倍だった。松江市西川津町の松江キャンパスでは最初の科目・国語の午前9時の開始を前に、受験生が表情に緊張と

3人の募集人員に対し280人が受験、倍率1.5倍だった。鳥取大は募集人員712人に対し1457人が受験し、倍率2.0倍。全国8会場で実施した鳥取環境大は募集人員135人

**私立大 志願状況**  
山陰中央新報 ホームページで

## 名前記入や補充、管理不要 保護者、保育士の負担減

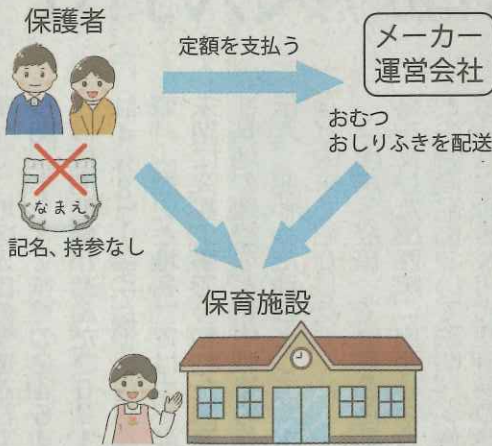


これまで保育所で使う紙おむつは、保護者が持ち主が分かるように名前を書きしたり、スナップを押したりして持参し、育て支援事業を手がける「BA」を使った分の登園時に補充する。年齢や月齢で異なるが、毎日5枚程度が要る。

も「補充を心配しな返る。厚生労働省は1月、使用済みおむつを保護者が持ち帰らなければならぬケースが多いことを踏まえ、保育所での処分を推奨する方針を示した。保育所側も園児ごとに使用済みおむつを保管する負担が大きく、サブスクと組み合わせれば、保育所、保護者ともにより利便性が向上する。

「保育所側もゆとりが生まれ、サブスク利用の園児のおむつ配が減った。嶺山隆子園長は「ちょっとした手間だが、積み重ねると相当な時間だった」と振り返る。

### おむつのサブスクサービス



サブスクサービスで届いたおむつ。棚にサイズごとに並べ、使う園児を確認して利用する。雲南市加茂町南加茂、みなみかも保育園

みなみかも保育園を運営する、愛耕福祉会の白根康久理事長は「地方でもサブスクになじみが出てきた。子どもと向き合う時間が増え、保護者にも保育者にもいい仕組みだ」と話している。

【日南】	24日	【鳥取】	24日	【松江】	24日
【伯耆】	24日	【益田】	24日	【雲南】	24日
【日吉津】	24日	【浜田】	25日	【奥出雲】	24日
【境港】	24日	【江津】	23日	【出雲】	24日
【米子】	21日	【益田】	25日	【松江】	23日
【智頭】	23日	【益田】	25日	【松江】	23日
【若桜】	23日	【益田】	25日	【松江】	23日
【湯梨浜】	24日	【益田】	25日	【松江】	23日
【琴浦】	25日	【益田】	25日	【松江】	23日

に26大学で実